

平成 15 年度資源有効利用促進法に基づく自主回収及び再資源化の  
各事業者等による実施状況の公表について

平成 13 年 4 月 1 日から資源有効利用促進法に基づき、事業系パソコンについては製造及び輸入販売事業者に対して、小形二次電池（ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウム二次電池、小形シール鉛電池）については電池の製造及び輸入販売事業者並びに電池使用機器の製造及び輸入販売事業者に対して、自主回収及び再資源化が義務付けられています。

また、家庭系パソコンについても、平成 15 年 10 月から製造及び輸入販売事業者に対して自主回収及び再資源化が義務付けられました。

自主回収及び再資源化の実施状況については、各事業者及び関係団体より、ホームページ等を通じて公表されています。

1. 事業系パソコン

(1) 自主回収実績 (単位：トン、台)

製品区分	回収重量	回収台数
デスクトップパソコン	2,121 ( 2,038 )	190,703 ( 175,317 )
ノートブックパソコン	383 ( 295 )	124,256 ( 90,160 )
ブラウン管式表示装置	3,231 ( 3,308 )	192,666 ( 208,423 )
液晶式表示装置	157 ( 60 )	25,451 ( 8,384 )
合 計	5,892 ( 5,701 )	533,076 ( 482,284 )

(2) 再資源化実績 (単位：トン、台、%)

製品区分	処理量	処理台数	再資源化量	再資源化率	法定目標
デスクトップパソコン	1,790 ( 1,748 )	163,764 ( 150,872 )	1,387 ( 1,313 )	77.5 ( 75.1 )	50
ノートブックパソコン	259 ( 223 )	83,778 ( 66,095 )	126 ( 98 )	48.7 ( 43.8 )	20
ブラウン管式表示装置	2,747 ( 2,888 )	164,899 ( 184,194 )	1,948 ( 1,926 )	70.9 ( 66.7 )	55
液晶式表示装置	108 ( 43 )	18,660 ( 5,664 )	69 ( 27 )	63.4 ( 63.0 )	55
合 計	4,905 ( 4,902 )	431,101 ( 406,825 )	3,530 ( 3,365 )		

表中の上段は平成 15 年度実績、下段括弧書は平成 14 年度実績（再集計値）で、各事業者（自主回収及び再資源化の義務のある事業者のみ集計し、義務者不存在分を対応した事業者を除く）の公表実績値を集計した。

本年度集計の平成 15 年度及び平成 14 年度の自主回収実績には製品リユースが含まれる。

回収実績、再資源化率の表中の数字は四捨五入のため、合計等は必ずしも一致しない。  
再資源化とは再生部品及び再生資源として利用することをいう。

参考（有限責任中間法人パソコン3R推進センター集計値）

（1）自主回収実績 （単位：トン、台）

製品区分	回収重量	回収台数
デスクトップパソコン	2,480 ( 2,343 )	226,263 ( 200,339 )
ノートブックパソコン	406 ( 316 )	131,949 ( 94,486 )
ブラウン管式表示装置	3,823 ( 3,780 )	232,479 ( 238,538 )
液晶式表示装置	175 ( 72 )	28,334 ( 10,599 )
合 計	6,883 ( 6,511 )	619,025 ( 543,962 )

（2）再資源化実績 （単位：トン、台、%）

製品区分	処理量	処理台数	再資源化量	再資源化率
デスクトップパソコン	2,149 ( 2,054 )	199,324 ( 175,894 )	1,677 ( 1,564 )	78.0 ( 76.2 )
ノートブックパソコン	282 ( 245 )	91,471 ( 70,421 )	142 ( 109 )	50.3 ( 44.6 )
ブラウン管式表示装置	3,339 ( 3,360 )	204,712 ( 214,309 )	2,432 ( 2,293 )	72.8 ( 68.2 )
液晶式表示装置	126 ( 54 )	21,543 ( 7,879 )	82 ( 32 )	64.8 ( 58.7 )
合 計	5,896 ( 5,712 )	517,050 ( 468,503 )	4,332 ( 3,998 )	

表中の上段は平成 15 年度実績、下段括弧書は平成 14 年度実績（再集計値）で、有限責任中間法人パソコン3R推進センター事業参加 40 社の集計値である。

本年度集計の平成 15 年度及び平成 14 年度の回収実績には製品リユースが含まれる。

回収実績、再資源化率の表中の数字は四捨五入のため、合計等は必ずしも一致しない。  
再資源化とは再生部品及び再生資源として利用することをいう。

## 2. 家庭系パソコン

（1）自主回収実績

78,068 台

申し込み者にエコゆうパック伝票を発送した合計台数

数字は制度開始後の平成 15 年度下半期の実績で、各事業者（自主回収及び再資源化の義務のある事業者のみ集計し、義務者不存在分を対応した事業者を除く）の公表実績値を集計した。

## (2) 再資源化実績

(単位：トン、台、%)

製品区分	処理量	処理台数	再資源化量	再資源化率	法定目標
デスクトップパソコン	270	22,343	209	77.5	50
ノートブックパソコン	18	5,022	9	48.7	20
ブラウン管式表示装置	550	31,151	390	70.9	55
液晶式表示装置	11	1,718	7	63.4	55
合計	848	60,234	614		

表中の数字は制度開始後の平成 15 年度下半期の実績で、各事業者（自主回収及び再資源化の義務のある事業者のみ集計し、義務者不存在分を対応した事業者を除く）の公表実績値を集計した。

回収実績、再資源化率の表中の数字は四捨五入のため、合計等は必ずしも一致しない。再資源化とは再生部品及び再生資源として利用することをいう。

## 参考（有限責任中間法人パソコン 3 R 推進センター集計）

## (1) 自主回収実績

79,278 台

申し込み者にエコゆうパック伝票を発送した合計台数

数字は制度開始後の平成 15 年度下半期の実績で、有限責任中間法人パソコン 3 R 推進センター事業参加 41 社の集計値である。

## (2) 再資源化実績

(単位：トン、台、%)

製品区分	処理量	処理台数	再資源化量	再資源化率
デスクトップパソコン	277	22,917	216	78.0
ノートブックパソコン	18	5,049	9	50.3
ブラウン管式表示装置	558	31,545	406	72.8
液晶式表示装置	11	1,739	7	64.8
合計	862	61,250	638	

表中の数字は制度開始後の平成 15 年度下半期の実績で、有限責任中間法人パソコン 3 R 推進センター事業参加 41 社の集計値である。

回収実績、再資源化率の表中の数字は四捨五入のため、合計等は必ずしも一致しない。再資源化とは再生部品及び再生資源として利用することをいう。

### 3. 小形二次電池

#### (1) 自主回収実績 (単位：トン)

製品区分	重量
ニカド電池	888 ( 834 )
ニッケル水素	94 ( 72 )
リチウム二次電池	241 ( 237 )
小形シール鉛電池	3,962 ( 3,700 )
合 計	5,185 ( 4,843 )

#### (2) 再資源化実績 (単位：トン、%)

製品区分	処理量	再資源化量	再資源化率	法定目標
ニカド電池	799 ( 792 )	587 ( 573 )	73.5 ( 72.3 )	60
ニッケル水素	85 ( 40 )	66 ( 32 )	77.6 ( 80.0 )	55
リチウム二次電池	221 ( 212 )	124 ( 114 )	56.1 ( 53.8 )	30
小形シール鉛電池	3,962 ( 3,700 )	1,981 ( 1,850 )	50.0 ( 50.0 )	50
合 計	5,067 ( 4,744 )	2,758 ( 2,569 )		

表中の上段は平成 15 年度実績、下段括弧書は平成 14 年度実績で、有限責任中間法人 J B R C、社団法人電池工業会及び社団法人電気通信事業者協会・情報通信ネットワーク産業協会（モバイル・リサイクル・ネットワーク）の公表実績値を集計した。

モバイル・リサイクル・ネットワークは回収量 = 処理量で集計

回収実績、再資源化率の表中の数字は四捨五入のため、合計等は必ずしも一致しない。

再資源化とは再生資源として利用することをいう。

各事業者団体ホームページへのリンク

<http://www.pc3r.jp/> 有限責任中間法人パソコン 3 R 推進センター

<http://www.jbrc.com/> 有限責任中間法人 J B R C

<http://www.baj.or.jp> (社)電池工業会

<http://www.tca.or.jp/> (社)電気通信事業者協会

<http://www.ciaj.or.jp/index.html> 情報通信ネットワーク産業協会